

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2017年第4号(週報)

2017年第4週(1月23日~1月29日)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

ー インフルエンザ：和歌山市、新宮保健所管内で警報レベル！全保健所管内で注意報レベル超える！ー

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって起こる病気で、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴です。

今週の和歌山県全体定点当たり患者報告数は28.16人(前週：21.20人)と増加し、過去5年間の同時期に比べてやや多い状況です。

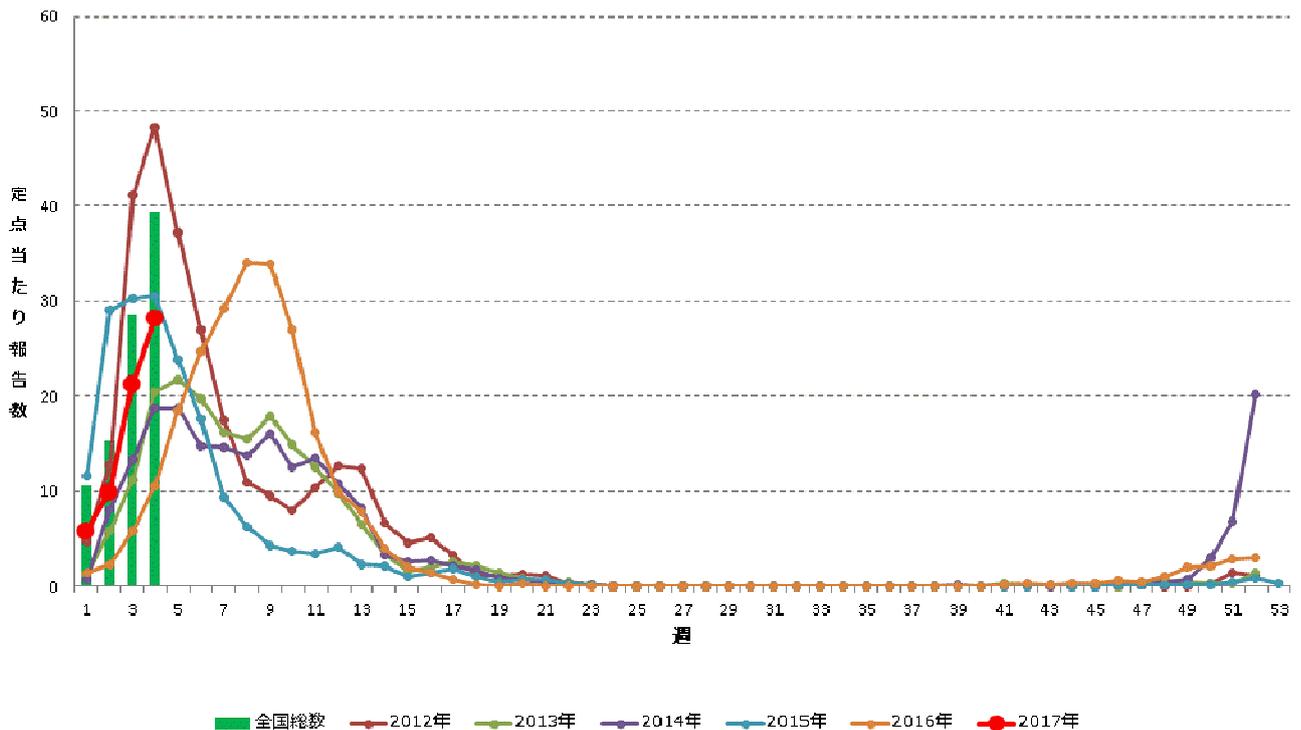
保健所別では、和歌山市保健所管内が43.47人(前週：35.47人)、新宮保健所管内が31.33人(前週：18.00人)と増加し、警報レベルとなっています。今後さらに患者報告数が増加することが予想されますので注意してください。

全国の定点当たり患者報告数は39.41人(前週：28.68人)と増加しています。

感染を予防するために、ワクチンを接種し、うがい・手洗いの励行、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。

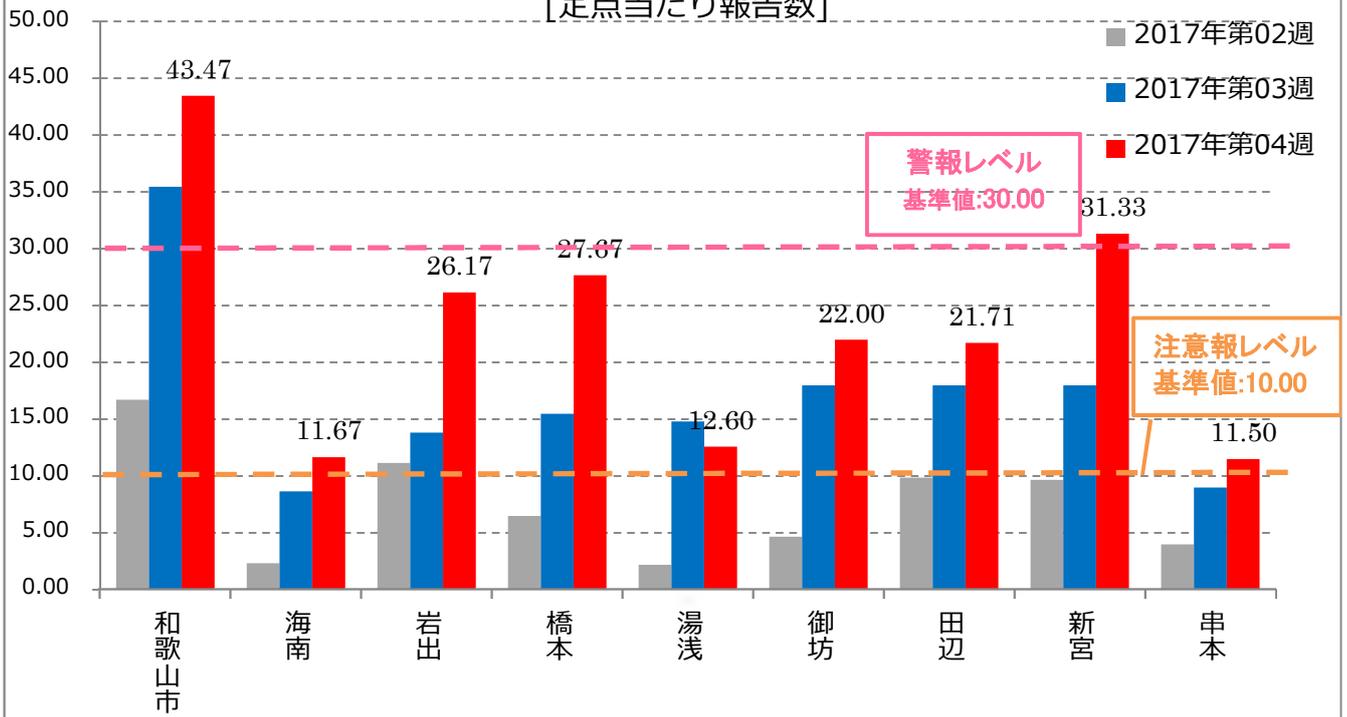
インフルエンザに関するQ&A(平成28年度版)はこちら：厚生労働省HP
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou01/qa.html>

インフルエンザ(和歌山県感染症情報センター)
定点当たり報告数グラフ



インフルエンザ-管内集計区分別

[定点当たり報告数]



一感染性胃腸炎：御坊保健所管内における集団食中毒により県内の患者報告数は増加！一

感染性胃腸炎は細菌やウイルス等を原因とする下痢、嘔吐を主症状とする感染症です。特に秋から春先にかけて患者報告数が多くなり、この時期はノロウイルスやロタウイルスが主な原因です。

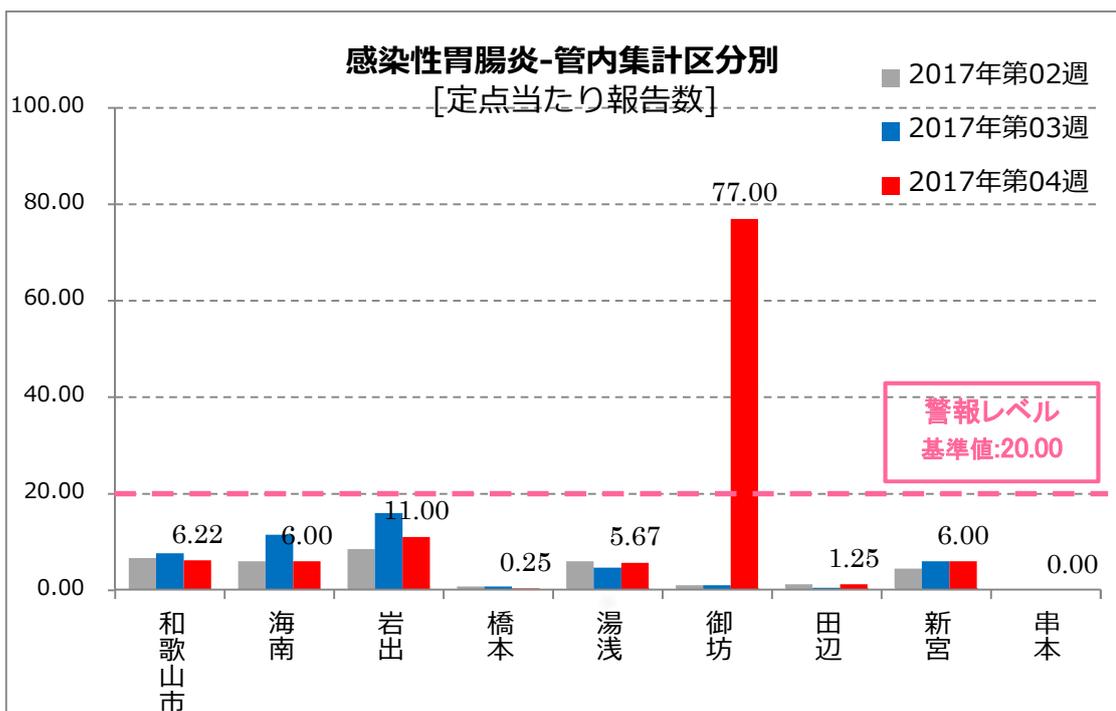
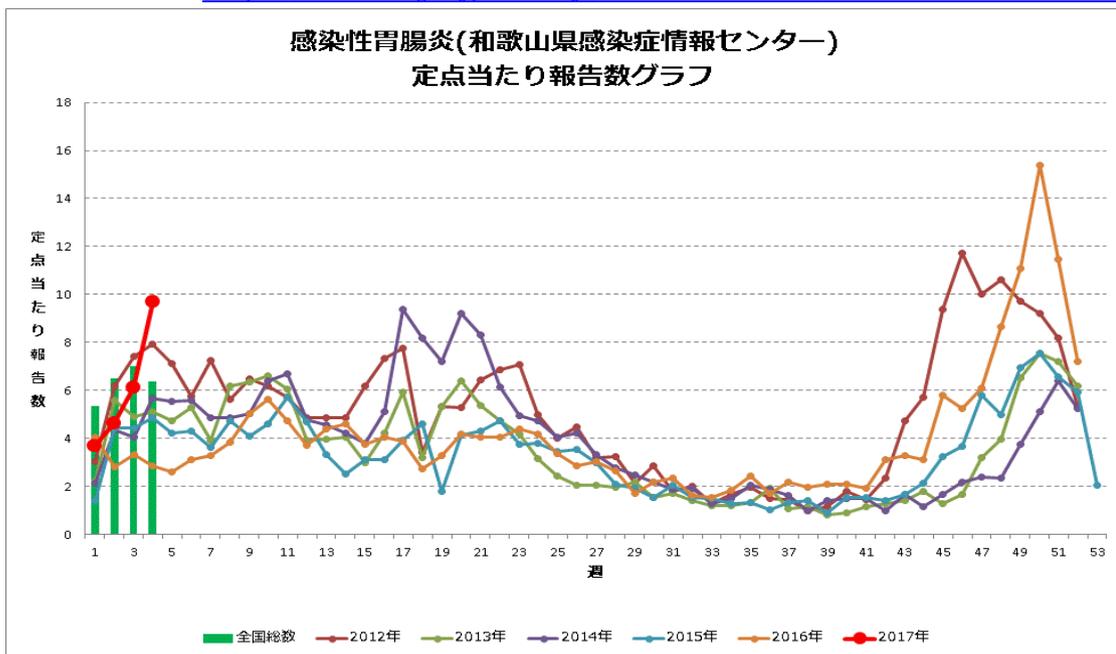
御坊保健所管内において集団食中毒が発生したことにより、和歌山県全体の定点当たり患者報告数は9.71人（前週：6.10人）と増加しました。過去5年間の同時期に比べかなり多い状況です。

御坊保健所管内の定点あたり患者報告数が77.00人（前週：1.00人）で警報レベルとなっています。

全国的には患者報告数は6.36人（前週：7.00人）と減少しています。

ノロウイルスの感染力は非常に強く、感染経路としては経口感染や患者との接触による接触感染、患者の嘔吐物や便からの飛沫感染等があります。感染予防には手洗いの励行、患者の嘔吐物を処理する際は塩素系漂白剤等を用いて適切な処理をすることが大切です。

感染性胃腸炎の詳しい説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/383-intestinal-intro.html>



一 流行性耳下腺炎：橋本保健所管内で警報レベル継続！県内の患者報告数は減少。一

流行性耳下腺炎は「おたふくかぜ」ともよばれ、主に2～5歳の子どものがかかる感染症です。ムンプスウイルスが原因で、2～3週間の潜伏期間を経て耳下腺の腫脹・疼痛、発熱などの症状がみられます。

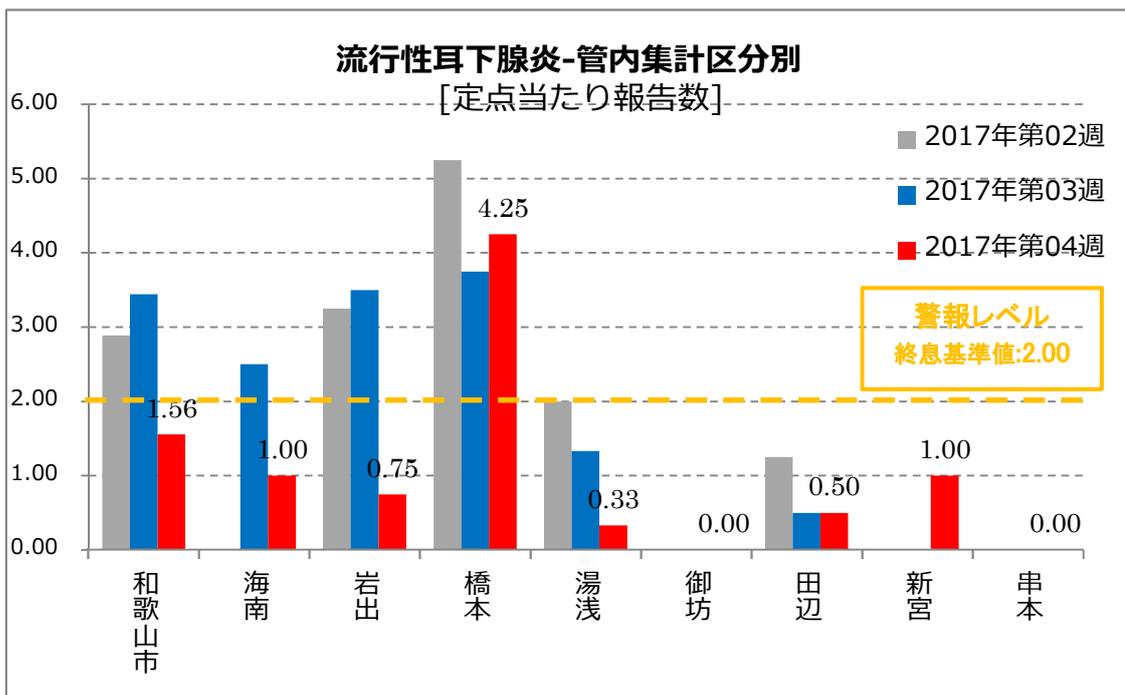
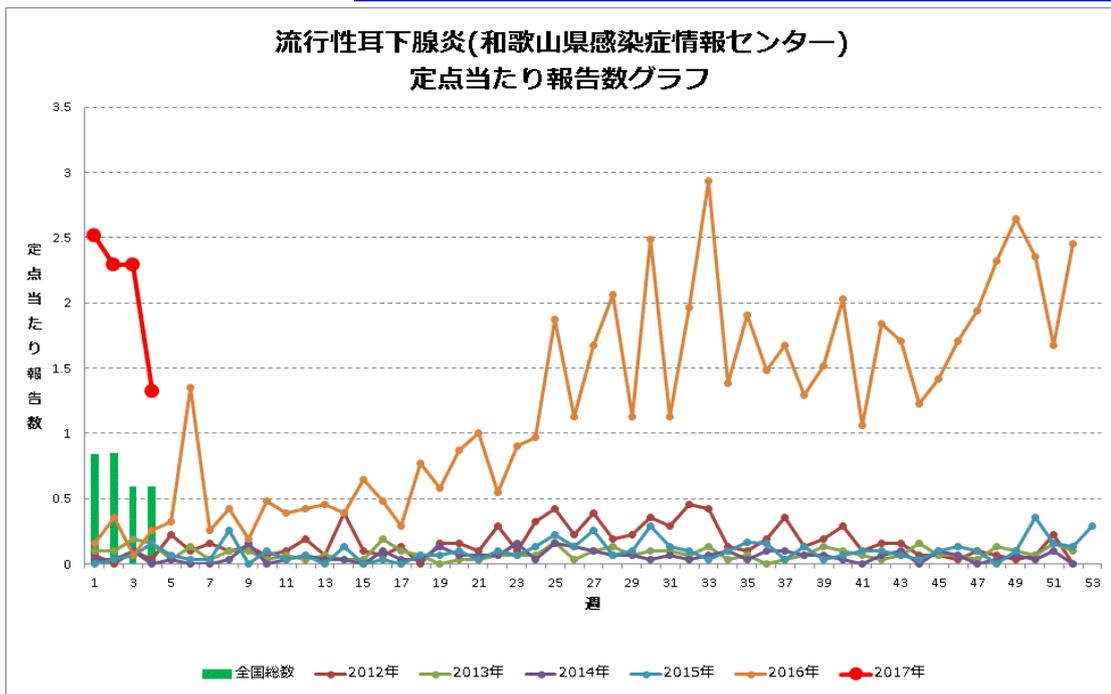
和歌山県全体の定点当たり患者報告数は、1.32人（前週：2.29人）と減少しましたが、過去5年間の同時期に比べかなり多い状況となっています。

保健所別では、橋本保健所管内が4.25人（前週：3.75人）と警報レベル終息基準値を上回っているため、2016年第48週以降警報レベルが継続しています。

全国の定点当たり患者報告数は0.59人（前週：0.59人）と横ばいです。

主な感染経路は、上気道を介した飛沫感染や接触感染であり、感染力が強いです。感染予防にはワクチンが有効です。

流行性耳下腺炎に関する説明はこちら：(国立感染症研究所HP)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/529-mumps.html>



定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	7	4	4
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

(1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

- 1 類感染症：報告はありませんでした。
- 2 類感染症：結核 3名
- 3 類感染症：報告はありませんでした。
- 4 類感染症：報告はありませんでした。
- 5 類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症 2名、侵襲性肺炎球菌感染症 1名

(2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	12
カルバペネム耐性腸内細菌感染症	2
侵襲性肺炎球菌感染症	1
梅毒	2

◆◆ 5類定点把握感染症(週報)について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

- インフルエンザ（和歌山市、新宮保健所管内）
- 咽頭結膜熱（新宮保健所管内）
- 感染性胃腸炎（御坊保健所管内）
- 流行性耳下腺炎（橋本保健所管内）

注意報レベル

- インフルエンザ（海南、岩出、橋本、湯浅、御坊、田辺、串本保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	1408	5	21	48	57	58	76	74	102	86	84	90	335	98	40	57	62	41	35	19	20
	定当	28.16	0.1	0.42	0.96	1.14	1.16	1.52	1.48	2.04	1.72	1.68	1.8	6.7	1.96	0.8	1.14	1.24	0.82	0.7	0.38	0.4

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	16	6	3	2	2	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.52	0.19	0.1	0.06	0.06	0.06	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	13	-	2	4	1	1	3	-	1	-	-	-	1	-	-
	定当	0.42	-	0.06	0.13	0.03	0.03	0.1	-	0.03	-	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	20	-	-	2	-	-	-	5	5	-	4	2	2	-	-
	定当	0.65	-	-	0.06	-	-	-	0.16	0.16	-	0.13	0.06	0.06	-	-
感染性胃腸炎	報告	301	1	6	15	13	11	25	18	24	26	26	18	104	8	6
	定当	9.71	0.03	0.19	0.48	0.42	0.35	0.81	0.58	0.77	0.84	0.84	0.58	3.35	0.26	0.19
水痘	報告	12	-	-	-	2	-	5	3	-	1	1	-	-	-	-
	定当	0.39	-	-	-	0.06	-	0.16	0.1	-	0.03	0.03	-	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	4	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	-	-	0.03	0.03	0.06	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	報告	11	1	4	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.35	0.03	0.13	0.19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-
ヘルパンギーナ	報告	2	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	41	-	-	2	2	3	5	5	7	5	3	8	1	-	-
	定当	1.32	-	-	0.06	0.06	0.1	0.16	0.16	0.23	0.16	0.1	0.26	0.03	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	652	35	157	166	63	66	152	94	23
	定当	43.47	11.67	26.17	27.67	12.6	22	21.71	31.33	11.5
RSウイルス感染症	報告	7	2	4	-	-	1	2	-	-
	定当	0.78	1	1	-	-	0.5	0.5	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	-	4	-	3	-	2	-
	定当	0.44	-	-	1	-	1.5	-	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	5	1	1	3	4	3	3	-	-
	定当	0.56	0.5	0.25	0.75	1.33	1.5	0.75	-	-
感染性胃腸炎	報告	56	12	44	1	17	154	5	12	-
	定当	6.22	6	11	0.25	5.67	77	1.25	6	-
水痘	報告	8	-	-	3	1	-	-	-	-
	定当	0.89	-	-	0.75	0.33	-	-	-	-
手足口病	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	1	-	-	2	-	-	-	1	-
	定当	0.11	-	-	0.5	-	-	-	0.5	-
突発性発しん	報告	2	1	1	-	3	1	2	1	-
	定当	0.22	0.5	0.25	-	1	0.5	0.5	0.5	-
百日咳	報告	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	1	1	-	-	-	-	-	-
	定当	-	0.5	0.25	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	14	2	3	17	1	-	2	2	-
	定当	1.56	1	0.75	4.25	0.33	-	0.5	1	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

和歌山県感染症報告 (WIDR) 2017 年第 4 号

発行日：平成 29 年 2 月 2 日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南 3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目 1 番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

この WIDR は感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。